

しずぎんカップ
第27回 静岡県ユースU-11 8人制サッカー大会中東部予選

趣 旨	静岡県の将来を担う少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、さらに技術の向上と健全な心身の育成・発達を目標として本大会を開催する。この大会はジュニア層のサッカー少年が自分自身で判断したり挑戦したりする体験を通して将来、困難な場面でも的確な判断ができ、正確な技術を発揮できる選手へ成長することを目指す。あわせてフェアプレー精神・リスペクト精神を養い、正しく強くそして想像力豊かな人間の育成を目的とする。指導者は、エントリー選手全員出場に向けて努力する。
主 催	一般財団法人静岡県サッカー協会、(株)静岡朝日テレビ
主 管	一般財団法人静岡県サッカー協会4種少年委員会、一般財団法人静岡県サッカー協会中部支部、中東部支部
後 援	静岡県教育委員会、朝日新聞静岡総局、日刊スポーツ新聞社静岡支局
特 別 協 賛	株式会社 静岡銀行
期 日	平成24年3月11日(日)・18日(日)
開 催 支 部	中部支部、中東部支部
会 場	清水総合運動場、西ヶ谷総合運動場、中島人工芝グラウンド
参 加 資 格	① 本大会の趣旨に賛同するチームであること。 ② 一般財団法人静岡県サッカー協会に登録した11年生以下(5年生～3年生)の小学生で構成されるチームで一般財団法人静岡県サッカー協会4種委員会各支部の地区予選を経たチームであること。 ③ 選手は個人登録しており、スポーツ保険に加入していること。 ④ 地区予選から県大会に至るまで同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加することはできない。
参 加 チーム	各支部から推薦された32チーム。不参加のあった場合、開催支部のチームを補充する。 (東部9 中東部3 中部4 中西部5 西部10 開催地:中部、中東部1)
監督者会議	予選監督者会議 11月18日(金)19:30～清水総合運動競技場体育館2階A・B会議室 チーム代表者またはチーム監督者のうち、1名以上の出席とする。
チーム編成	代表者1名、監督1名、コーチ2名、選手8～16名 計20名以内
競技規則	(財)日本サッカー協会8人制競技規則に準ずる。ただし、静岡県サッカー協会中東部4種少年委員会細則を定める。

■静岡県サッカー協会中東部4種委員会細則

抽 選 方 法	リーグ戦ファーストステージ西南北各ブロックの1位チームを第一シード、2位チームを第二シードとし、以降はフリー抽選とする。
期 日	平成23年12月4日(日)～平成24年1月15日(日) 1次リーグ 12月4日(日) 会場 蒲原河川敷 4面(F-1、F-2、D-1、D-2) 2次リーグ 12月10日(土)・11日(日) 会場 蒲原河川敷 4面(F-1、F-2、D-1、D-2) 3次トーナメント 12月11日(日) 会場 蒲原河川敷 2面 大会予備日 24年1月15日(日)
会 場	蒲原河川敷グラウンド他
県大会出場	中東部支部予選より上位3チーム(県大会は支部および地区予選を勝ち進んだ合計32チーム)。
チーム編成	●選手学年の下限 ① 本大会に参加できる選手は最上級生から2学年下までの範囲とする。 ●複数チーム ① 1登録チームから複数のチームがエントリーできる。ただし、各チームは5年生が6名以上エントリーされていること。 ② いずれかのチームが県大会に出場することになった場合、他方で予選へ参加した選手を県大会エントリーメンバーへ追加することができる。入れ替えはできない。追加のみ認める。 ③ 複数チームがエントリーする場合、代表者は同一人物で構わないが、監督、コーチは重複しない人物であること。 ●混成(合同)チーム ① 5年生が大会経験を積むことを目的に、混成(合同)チームをつくり今大会に出場することを認める。 ② 混成チームの場合も5年生が6名以上エントリーされていること。 ③ チーム名は主体となるチーム名を使用するか、または各チーム名を併記する。 ④ ユニフォームは主体となるチームのものをメイン・サブとも使用するか、またはサブは別のチームのものを使用する。 ⑤ 大会エントリーする前に支部長ならびに4種委員長の承認(審査)を得る。
予 選 方 法	① 1次リーグ 4チーム×2ブロック・3チーム×6ブロックにおけるリーグ戦 2次リーグ 4チーム×4ブロックにおけるリーグ戦 3次トーナメント 各ブロックの1位チームによるトーナメント ただし、参加チーム数によっては組合せ方法が変更になり場合がある。 ② 試合球は公認4号球とし、対戦チームより試合球を決定する。 ③ 試合は8人制とし、試合時間は予選リーグ、順位トーナメントも30分とし、順位決定戦が同点の場合は、3人によるPK戦とする。 ④ 1次リーグ及び2次リーグ戦は同点でも延長は行わず、①勝点(勝3・分1・負0)②得失点差③総得点④直接成績⑤抽選の順によりリーグ戦内の順位を決定する。抽選は代表または監督が行う。 ⑤ 大会エントリー選手、試合登録選手は16名以内とする。試合中の交代人数に制限を設けない。また自由交代制を採用し、退いた選手の出場を認める。 ⑥ 一方のチームが6人未満になった場合、試合は成立しない。リーグ戦はそのチームの全試合結果を抹消する。 ⑦ 退場処分または、本大会を通して警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。 ⑧ ピッチサイズは縦68～60m・横50～40mとする。ゴールは少年用(2.15×5m)とする。

参 加 料 5,000円 (監督者会議時に集金)

ユニフォーム ① 参加チームは、異色のユニフォームを2着用意する。ユニフォームの番号はエントリー時に登録したものとする。1～20までの通し番号でなくても良い。縦縞、横縞のユニフォームを使用するチームは、台地に背番号を付ける。

- ② ユニフォームに背番号を付ける場合、試合中に取れることのないよう付けること。
なお、試合中に背番号が取れた場合、一度、ピッチより退出し、直してから再出場しなくてはならない。
- ③ メンバー表提出時または事前に対戦相手とユニフォーム上下及びソックスのいずれかの色が重なりと分かった場合、当該チーム同士の話し合いにより重なった部位の色の変更を決定をする。(ゴールキーパーについても同様とする)
ただし、話し合いが不成立の場合、当該試合の主審立会いの下、本部にてコイントスを実施し決定する。
- ④ 背番号は必ず付け、同番号をユニフォームの胸またはパンツの前(側)面に付けること。
- ⑤ 半袖ユニフォームの内側に着る長袖アンダーシャツは、半袖ユニフォームの袖色と違ってチーム全員が同色のアンダーシャツを着用すれば使用を認める。
- ⑥ 袖口より出ている部分にライン等がある場合も同様に、全員が同柄のアンダーシャツを着用すれば使用を認める。
- ⑦ 半袖ユニフォームの袖色と同色のアンダーシャツを着用する場合は、半袖と長袖(アンダーシャツ着用)の選手が混じって試合を行うことができる。
- ⑧ ユニフォームシャツ(ゴールキーパーを含む)の色彩は通常、審判員が着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- ⑨ 同点によるPK戦においてフィールド選手がゴールキーパーを行う場合、フィールド選手1名(交代1回目)に限りフィールド選手のユニフォームのままプレーを認める。その後(交代2回目以降)は正規のゴールキーパーユニフォーム(当人の番号付き)を使用しなければならない。
ただし、ゴールキーパー負傷による交代の場合は交代1回目と同様に扱う。
- ⑩ 8人制サッカーにおいて試合途中、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーへポジションを変える場合、パンツ・ストッキングはそのままで、他の選手と重複しない番号がついたフィールドプレーヤー用のシャツを着用し出場することができる。また、試合途中、フィールドプレーヤーがゴールキーパーへポジションを変える場合、フィールドプレーヤーユニフォームの上にピッチ内選手のシャツと異色のビブス(番号の有無、数字は不問)を着用し出場することができる。

そ の 他

- ⑪ ゴールキーパーは試合開始時にはゴールキーパーユニフォームを着用していること。
- ① 選手は試合当日、登録選手証に写真貼付をし、持参し、会場で登録チェックを受ける。
- ② 選手証に貼付する写真(縦3×横2.4cm)は証明写真またはそれに準ずるもの(背景が白色、または青色)とする。
ただし、スナップ写真等と判断された場合、出場できないこともあり得る。
- ③ 登録選手証を持参しない選手は試合に出場することができない。
登録確認は毎日1回各チーム初戦前とし、会場本部で速やかに確認をうける。
- ④ 予選で不正行為があった場合は本大会の役員会で裁定を下すものとする。
- ⑤ 試合における事故は、運営本部にて応急処置はするがその後はチームまたは保護者の責任とする。
- ⑥ ケガ等により包帯等を巻いて出場する場合、チームの判断に委ねるが、不明の場合は、本部及び当該試合の主審に確認をすること。
ただし、出場を控えるよう指示があった場合には、それに従うものとする。
なお、骨折等により石膏をしている場合は、出場できない。
- ⑦ 試合終了後は相手チームベンチへ挨拶に行かず、直接自チームベンチへ戻り、速やかにベンチを空ける。
- ⑧ (財)日本サッカー協会公認コーチ資格を有する指導者はライセンス認定証に写真を貼付し、携帯していること。
- ⑨ ベンチに入る代表者・監督・コーチは常に紳士的な態度で行動をとらなければならない。
今大会の趣旨をわきまえ、指示を出した後は速やかに元の位置に戻るよう心がける。
- ⑩ ベンチ内は、(喫煙・ガム、携帯電話等)禁止とする。違反した場合は、会場本部の判断により注意し、退席処分とする。
- ⑪ ベンチ内外からの罵声等に対しては、会場本部の判断により注意し、退席処分とする。
- ⑫ ゲーム中は選手が自由に判断し、様々なプレーにトライできるようサポートする場となるよう心がけること。
なお、チーム代表者は応援者に対しても、常に紳士的な態度で応援を心がけるよう指導しておくこと。
- ⑬ チーム代表者は応援者に対し、ベンチの反対側のピッチサイドにて応援するよう指導しておくこと。
- ⑭ ベンチ内にはメンバー表に記載されている指導者以外の立ち入りは認めない。
- ⑮ 原則、試合中のベンチへの用具運搬等はベンチ入り時に行うようにすること。
- ⑯ 本大会は飲水タイムを設けないが、ピッチサイドには給水用のボトルを置くことができる。
また休憩時間に十分な水分補給を行うこと。
- ⑰ 不戦勝の場合のスコアは8-0とする。

審 判

- ① 主審は3級以上の上級審判であること。なお、主審以外は4級審判可とする。
また、主審以外の審判は試合をしっかりとコントロールできる者とする。
- ② 全ての審判員は審判証に写真を貼付し、常に携帯しておくこと。
- ③ 全ての審判員は各試合10分前に本部に集合し、審判証の確認および打合せを行う。

メ ン バ ー 表

- ① 事前にメールにて送られてきたメンバー表及び選手登録票を各一部ずつ提出すること。

及 び

登 録 票

- ② 大会当日の背番号の変更は認めない。
- ③ 大会当日に選手証の番号と登録票の番号が異なる場合、その選手は出場できない。
- ④ 各試合時20分前までに、3部を本部に提出すること。
2部は本部用、1部は対戦相手用となるが、対戦相手用は相手チームに手渡す。
なお、ユニフォーム欄は本部提出時に○をつけること。

会 場 設 営

- ① 会場設営等は参加各チームより指定された人数の運営委員が参加し、指定された時間に集合、協力し行う。
なお、理由なく参加しなかったチームは、支部長の判断により大会に参加できない場合もあり得る。

大 会 役 員

静岡県サッカー協会第4種委員会中東部支部
 杉山勝徳 金子雪彦 前澤 孝 本田忠勝 岩科好治 望月琢夫
 清水サッカー協会第4種委員会
 内山嘉之 遠藤貴久 小松竜也 佐藤貴史 工藤善充 横山博樹